

令和6年度 1学期 生徒授業評価アンケート

教科名	国語	重点目標	知識・技能を定着させ、思考や協働学習をじっくり行える授業づくり
学習指導に関する現状と課題（1 学期・生徒による授業評価アンケートより）			
1 年 国語			
0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100% 板書は見やすく工夫されている（色分け等） プリント等の補助教材は分かりやすく作られている 授業中、考える時間やグループで話し合う時間を十分にとっている 学習の振り返りができている 教科の内容をわかりやすく楽しく教えている ■あてはまる ■ほぼあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない			
分析	改善点としては、考える時間や話し合う時間が十分にとれているという項目と振り返りの時間の確保、教科の内容である。中学校に入って国語の内容が難しくなり、振り返りを確認しつつ、丁寧に教えていくようにする。そのためにも振り返りの時間を多めにとること、話し合う時間を多くとることで知識の定着を狙っていく。また、肯定的な評価が80%を超えた板書やプリント等の補助教材についてはユニバーサルデザインを考え、より一層工夫を続けていく。		
2 年 国語			
0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100% 板書は見やすく工夫されている（色分け等） プリント等の補助教材は分かりやすく作られている 授業中、考える時間やグループで話し合う時間を十分にとっている 学習の振り返りができている 教科の内容をわかりやすく楽しく教えている ■あてはまる ■ほぼあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない			
分析	全体的に肯定的な意見が多かったが、授業中の話し合い活動をさらに充実させることや、さらなる授業展開の工夫を行うことで、さらに数値を上げることができると考える。今後は各単元において、自分の意見や考えをまとめることで書く力を定着させ、それをいかして他者と意見交換等を行い、様々な考え方や意見のまとめ方に触れさせることで、視野を広げ、アウトプットする力も身につけさせたい。		
3 年 国語			
0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100% 板書は見やすく工夫されている（色分け等） プリント等の補助教材は分かりやすく作られている 授業中、考える時間やグループで話し合う時間を十分にとっている 学習の振り返りができている 教科の内容をわかりやすく楽しく教えている ■あてはまる ■ほぼあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない			
分析	昨年に比べると全体的に肯定的な意見が多い。3年生になり、進路に向けて生徒の学習意欲は向上しているが、学習内容が難しくなっているためか「考える時間・話し合う時間」や「教科の内容のわかりやすさ」がほかの項目に比べ低くなっている。板書やプリント、ICTなどの活用により、知識の定着の部分をもさらにわかりやすく、効果的に行うことで、生徒が問いに対して考えたり、話し合ったりする時間を確保し、「できた」という実感の得られる授業を目指したい。		